



ひとりだち

令和2年度
下羽栗小学校
学校だより
R3. 2. 25

つながる私たちの「伝統」



下羽栗小学校の「鼓笛隊活動」は、技術・心の両面から長い年月をかけ受け継がれてきました。行事としては、運動会とリバーサイドカーニバルでしたが、今年度見ていただく機会となったのは「鼓笛隊活動のお披露目会」でした。これは子どもたちの諦めない気持ちがあったからこそ取組でした。

9月からは、次年度のパートを決めるオーディションに向け、6年生が下学年の先生となり丁寧に教えていました。金管楽器の指遣いや音の違い、フラッグの振り方や声の出し方等、様々な助言をしました。しかしまたしても緊急事態宣言のため、金管楽器の練習は中断しました。それでも工夫しながら、鼓笛隊引継ぎ式を2月9日に迎えることができました。6年生は、4・5年

生が下羽栗小学校の伝統ある鼓笛隊を引き継ぎ、今まで以上に活発な活動を、自主的に行うよう励ましの言葉を伝えました。4・5年生は今まで教えてくれた6年生に感謝し、鼓笛隊活動に意欲的に取り組もうとする気持ちを、5年生のパートリーダーが伝えました。例年のように演奏することはできませんでしたが、言葉や態度によってその伝統が繋がったと感じました。今年度は活動自体が危ぶまれた中で、歩みを止めることなく進むことができたことに安堵しています。そしてまた次への歩みを、確かなものにしなければならないという思いが沸き起こってきました。

今できることを探し続ける



これは3年生の社会科の授業風景です。コロナ禍にあり、現地での見学ができないため、タブレットを使ってリモートで見学をしています。見学では、笠松町歴史未来館と岐南町歴史民俗資料館の方に協力いただきました。子どもたちは説明して下さる講師の先生の問いかけにタブレット越しに答えたり、質問したりしながら学びを深めました。また映し出されるものに、目を輝かせながら見入っていました。このように教室にいながら、現地の様子を学ぶことができたのです。これまでの見学とは全く異なったスタイルでしたが、子どもたちの様子から確かな手ごたえを感じました。

まだ先が見通せない今、できないことを探せばきりがありません。しかし、できることもたくさんあります。様々な制限のある中でも、アイデアを出し合い、工夫して新しいやり方を生み出そうと努力することが新たな学校を作ることになると感じます。過去をなぞるのではなく、今に合わせて作り直していこうと探し続け努力することが、子どもたちをよりよく成長させていくと考えています。

3月の予定

1日 (月) 新月曜日課 ALT来校	18日 (木) アルミ缶回収 大掃除ワックスがけ
2日 (火) SC来校 JET来校	19日 (金) ALT来校
3日 (水) 授業参観 (円城寺・中野)	22日 (月) 新月曜日課 ALT来校
4日 (木) 授業参観 (無動寺・江川・米野)	24日 (水) お別れ式 (1～3年, 6年)
5日 (金) ALT来校	25日 (木) 卒業証書授与式 (1～5年休業日)
8日 (月) 新月曜日課 代表委員会 ALT来校	26日 (金) 後期終業式 修了式
11日 (木) 通学班会	離任式
12日 (金) ALT来校	27日 (土) 学年末及び学年始め休業日
15日 (月) 新月曜日課 ALT来校	(4月6日まで)